

日本漢詩翻訳索引

大 沼 宜 規

漢詩は、いうまでもなく中国の詩の形式であるが、古くから日本でも受容され、日本の文学史に大きな影響を与えてきたといわれる⁽¹⁾。そして、中国人の詠んだ詩を鑑賞するとともに、日本人も自ら多数の漢詩を詠んできた。平安時代の菅原道真や室町時代の義堂周信、絶海中津、江戸時代の頼山陽など各時代を代表する詩人だけではなく、伊達政宗や乃木希典、夏目漱石など、漢詩以外の分野で活躍した人物が、漢詩作者としてよく知られている場合も少なくない。

日本人の詠んだ漢詩（日本漢詩）の解釈を掲載した資料を探す相談は、中国人の詠んだ漢詩のそれとならんで、国立国会図書館（以下「当館」と省略）の人文総合情報室に寄せられるレファレンスのなかでも数多いものの一つである。中国人が詠んだ漢詩については、相島宏氏（当館元職員）が「中国詩詞翻訳索引⁽²⁾」を作成され、その結果、効率的で迅速な調査が可能となっている。また、日本漢詩については、当館がインターネット上に公開している「調べ案内」で、調査に有用な資料を紹介して利用者の便宜に供してきた⁽³⁾。しかし、実際には資料を請求して内容を確認しなければ求める詩の有無は分からないため、日本漢詩の解釈を掲載する文献の調査は、大きな時間と労力が必要となっていた。本索引はこのような状況を改善するため、「中国詩詞翻訳索引」の後を引き継いで作成したものである。

日本漢詩に関する解釈書は、当館所蔵資料をもとに確認した範囲では、明治30年代には傍訓が付された資料（句毎のものと字毎のものがある）が刊行されるようになり、次第に語句の解説をした注が付され、解釈や鑑賞などが加えられていくようになる。本索引では、①当館所蔵資料であり、②明治年間から平成20年（2008）までに刊行され、③日本人の複数の作者の作品が

取められ、④詩の原文、訓読とともに、詩中の語句に対する注、現代語訳や大意など内容の解釈のいずれかが掲載された漢詩集を中心に、90冊を選択した。詩の原文と訓読のみを掲載した資料は一部を除き採録しなかった。また、戦後の資料は、なるべく広く採録したが、戦前の資料は、主として戦後に参考文献として挙がるものや、戦後に取り上げられない詩や詩人を多く含むものから選んだ⁽⁴⁾。

採録した詩は、現存最古といわれる大友皇子の「侍宴」から、土屋竹雨の「原爆行」など戦後の詩まで含んでいる。採録した詩数が最も多い詩人は頼山陽と思われ、それについて菅茶山、森春濤、藤井竹外、梁川星巖、大沼枕山、成島柳北などの詩が多い⁽⁵⁾。いずれも江戸時代後期から明治時代にかけての人物であるが、異なる時代では、菅原道真、絶海中津などの詩も比較的多くみられる。一方で、それぞれ1首にすぎないが、西行や徳川吉宗、本居宣長の詩も含まれている。採録した詩数は約12,000首（連作詩をまとめて1首と数えた場合がある）、詩人数は約1,650人である。

編集にあたっては、注意を払ったつもりではあるが、収録の遺漏や同定の誤り、入力ミスなどもあるのではないかと思う。御寛恕を請う次第である。

この4月からNHKカルチャーラジオで「漢詩を読む 日本の漢詩⁽⁶⁾」が始まるなど、日本漢詩に関心を持つ方は少なくないようである。本索引が、漢詩の訳を探す方のお役に立てば幸いである。

なお、現在、漢詩集の目次は、可能な範囲で当館の目次データベース⁽⁷⁾に登録するよう努めている。資料の目次に記された形のまま入力しているので、漢文の題名、邦訳された題名とも確認しなければならないが、併せて参考にしていただきたい。

末筆ではあるが、本索引作成にあたり、人文課の同僚諸氏に校正のお手伝いをいただいた。記してお礼申し上げる。

注

- (1) たとえば、近年では、日本文学研究者の鈴木健一氏が「日本文学のすばらしさの半分は漢詩文によっている」、「日本文学を勉強する者にとって、漢詩文の知識はいわば必須」のものと述べている。後藤昭雄・佐藤道生・堀川貴司・池澤一郎・鈴木健一「《座談会》日本漢詩のエートス」(『文学』第10巻第3号、2009年5月、岩波書店、当館請求記号Z71-D437) 2頁。
- (2) 「中国詩詞翻訳索引 I 宋代」(『アジア資料通報』31巻1号、1993.1、2～54頁 当館請求記号Z8-985)、「中国詩詞翻訳索引 II 遼・金・元代」(『参考書誌研究』58号、2003.3、33～59頁 当館請求記号Z21-291)、「中国詩詞翻訳索引 III 明代」(『参考書誌研究』61

- 号、2004.10、108～187頁)、「中国詩詞翻訳索引Ⅳ清代」(『参考書誌研究』62号、2005.3、187～258頁)、「中国詩詞翻訳索引Ⅴ先秦～隋代」(『参考書誌研究』63号、2005.10、180～280頁)、「中国詩詞翻訳索引Ⅵ唐・五代」(『参考書誌研究』70号、2009.3、全冊)。
- (3) 国立国会図書館リサーチ・ナビ(調べ方案内)「日本漢詩の作品を調べる」(URL：http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-399.php)。
- (4) それらの資料には時代性を感じさせられる解説が付されたものも少なくないが、採録の是非に関し、その点は考慮しなかった。
- (5) 連作詩を一項目にまとめているものがあるので、正確な数ではない。また、岩波書店の「江戸詩人選集」など、二人の作家の作品を掲載した資料も採録しているので、単純に比較することはできない。
- (6) NHKラジオ第2放送「NHKカルチャーラジオ 漢詩を読む 日本漢詩」(URL：<http://www.nhk.or.jp/r2bunka/ch06/> 2011年8月20日確認)。テキストブックとして、後藤昭雄[他]『漢詩を読む』(NHK出版、2011、当館請求記号KG817J17)が刊行されている。
- (7) 国立国会図書館リサーチ・ナビ「目次データベース」(URL:<http://rnavi.ndl.go.jp/mokuji/>)。

凡例

1. 本索引は、日本人が詠んだ漢詩(一部来日した外国人などの詩を含む)を対象として、原文と訓読に語注、解釈(現代語訳や大意など)のいずれかが付されたもの(一部原文、訓読のみ)を作者別に排列し、掲載資料(〈1〉などの略号で表示)と掲載頁を示したものである。
2. 明治初年(1868)から平成20年(2008)末までに刊行された図書で、原則として一首毎または詩題毎に項目立てされている漢詩集のなかから選んだ。
なお、単独の作者の詩集、単独の詩集の解釈書、詩を引用する著作、私家版は、一部を除き採録しなかった。
3. 排列は、作者の読みの五十音順とし、同一作者の詩については詩題の単漢字毎の五十音順とした。漢字毎にまとめてはいない。作者の読みが不明な場合、一般的な読み方で並べた。
4. 作者の名は、原則として目次や標題部分に用いられているものから採った。原則として姓と号を採ったが、号が記されていない人物や、号以外の呼称の方が馴染み深いと思われる人物(例、伊達政宗、乃木希典など)については、号以外の呼称を採用した。作者の名に続けて、括弧内に、用いられている異なる名称を示した。

5. 詩題は、原文のものを採った。
詩題の記載がないものは、その作者の項目の最後に、括弧内に「無題」と記し、「*」と初句を示した。
同一詩を異なる詩題で示す資料がある場合、分かる範囲で項目を統一した。その場合、詩題に続けて括弧内に主な異なる詩題を示した。異なる詩題に、採録した題名が含まれる場合は「…」で示すこともある。異なる詩題の第1字目が採録した詩題と異なる場合は、立項して「をみよ」の注を付した。
末尾の「二首」「節一」等は、資料による異同が少なくないため、適宜のものを採用した（例、「思君」「思君十首」はともに「思君十首」）。
詩の題名に続く「其一」等、詩の番号に当るものは省略した。副題も適宜省略したものがあるが、連作詩の個別の題名と考えられるものは残した（例、「咏四種学者 国学」）。
6. 掲載頁は、1頁のみの場合、複数頁にわたる場合に拘らず、資料の略号の後に、「pp.」に続けて開始頁と終了頁を示した。関連する解説や作者紹介などを含む場合がある。
7. 作者と題名が同一で内容が異なる詩や、連作詩の一部と分かる詩は、詩の題名に続けて括弧内に「*」と初句（あるいは第二句まで）を示して区別した。資料により部分的に用いられる漢字が異なる場合、一種類のみを示した。
8. 1、2の条件を満たす単独の訳詩集がある作者については、「◇」に続けてその書誌を示した。但し、網羅的なものではない。《 》内は当館請求記号である。
9. 原則として現在通行の字体を用いた。
10. 掲載資料の略号は以下の「本索引作成にあたり参考とした当館所蔵日本漢詩集リスト（兼略号表）」を参照いただきたい。

※現在、当館では、刊行年代の古い資料のデジタル化を順次進めています。
本稿で取り上げた資料の一部は、デジタル画像で提供しています。

本索引作成にあたり参考とした当館所蔵日本漢詩集リスト (兼略号表)

本リストは、本索引に採録した日本漢詩集と、凡例1、2の条件を満たすが索引に採録することを見送った資料（戦前の資料はそれ以外のものも多少含めた）を刊行年順（復刻本は初版の年にあわせた）のリストにして、簡単な説明を付したものである。

説明では、資料中の表記に拘らず、「読み下し」「書き下し」などは「訓読」と、詩中の言葉の説明は「語注」と、詩の通釈、現代語訳、大意などはいずれも「解釈」と記した。また、分かる範囲で収録詩数（ここでは連作詩は詩数を数えて、加算した）を記した。

索引に採録した資料には、書誌の左に〈1〉等の略号を記載した。《 》内は当館請求記号である。

- ・ 谷沢光吉（紫軒小史）『古今名士吟詩集』甲陽堂〔ほか〕1908《特65-51》
和漢294首を収録。ほとんどが日本漢詩。原文と訓読（傍訓）を掲載する。近代の軍人、官僚の詩なども含む。
- ・ 北城盤岳『古今名士愛吟詩評釈』国華堂1909《特63-641》
157首を収録。1首を除き日本漢詩。原文、訓読（傍訓）、解釈を掲載する。一部は原文と訓読（傍訓）のみ掲載する。幕末明治期の詩がほとんどであり、明治期の軍人、官僚の詩などのなかに、他の資料に掲載されない詩を含む。
- ・ 緑葉居士『朗吟自在壮快詩集』鈴木与八1909《特71-756》
和漢の詩を収録。日本漢詩は100首弱。原文、訓読（傍訓）、詩全体の解説を掲載する。
- ・ 釈清潭『和漢高僧名詩新釈』丙午出版社1910《特64-201》
和漢の僧侶の詩を収録。日本漢詩は53首。130頁～194頁にかけて、虎関師鍊、雪村友梅、大智、竜泉令淬、別源円旨、夢巖祖応、中巖円月、絶海中津、義堂周信の詩をとりあげている。原文、訓読、語注、詩の「評論」を掲載する。補注を付した『補注和漢高僧名詩新釈』（国書刊行会、1998）が刊行されている（〈70〉）。

- 〈1〉 上田竜岳『振気興風高吟詩集正解』朝野書店 1912 《特63-818》
日本漢詩のみ103首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。
- 〈2〉 大田淳軒『中学名詩詳解』山海堂書店 1912 《特110-25》
「皇朝詩」、「支那詩」に部立てする。「皇朝詩」は194首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。
- ・ 宮崎一雨『古今名詩通俗史談』磯部甲陽堂 1912 《特113-592》
日本漢詩70首を収録。詩の原文、訓読（傍訓）と、その詩に関係する歴史上の人物や出来事を紹介する。
 - ・ 岩垂憲徳『和漢百人一詩』昭文堂〔ほか〕1914 《特101-235》
和漢各100首を収録。原文、訓読、詩の解説や語注を掲載する。
- 〈3〉 結城蕃堂〔他〕『和漢名詩鈔』続（3版）文会堂書店 1915 《71-549》
和漢の詩を収録。日本漢詩は770首。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。
- ・ 簡野道明『和漢名詩類選評釈』4版 明治書院 1915 《357-36》
1952年修正70版《921-Ka457w-(th70)》（〈24〉）参照。
- 〈4〉 岡田正之・佐久節『本朝名家詩文』明治出版社 1917（漢文註釈全書第2編）
《919.5-O38ウ》
日本漢詩は51首を収録。他に日本漢文を収録する。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。
- ・ 柿村重松『士気鼓吹維新烈士詩伝』帝国教育研究会 1918 《376-222》
67頁～478頁にかけて、幕末の志士など38人を取りあげ作者を紹介し、原文、訓読、詩の解説を掲載する。
- 〈5〉 大町桂月『和漢名詩詳解』早稲田大学出版部 1921 《396-146》
和漢の329首のうち日本漢詩は192首を収録（高麗鄭圃隱の詩13首を含む）。原文、訓読、解釈のほか、備考としてコメントを掲載する。本索引では、日本漢詩と、高麗鄭圃隱の詩13首のうち訓読や解釈が付された3首を

採録した。

- 〈6〉上村才六『日本詠史集詳解』乙集 松雲堂書店 1988 《KG815-H24》
199首を収録。1928年版の復刻。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。
頁番号は丁付。
- 〈7〉上村才六『日本名勝詩詳解』松雲堂書店 1999 《KG815-H22》
212首を収録。1928年版の復刻。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介を
掲載する。頁番号は丁付。
- 〈8〉上村才六『日本名勝詩詳解』乙集 松雲堂書店 1999 《KG815-H23》
282首を収録。1928版の復刻。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。頁
番号は丁付。
- 〈9〉『現代日本文学全集』第37篇 改造社 1929 《918.6-G34 イウ》
井上靈山解説「現代日本漢詩集」。明治・大正期の漢詩人の詩335首を収
録。原文と訓読のみを掲載する。多くの作者の肖像写真を掲載する。末尾
に作者紹介（現代日本漢詩家小伝）あり。
- 〈10〉松村介石『道会詩集』道会事務所 1929 《590-152》
和漢の詩を掲載。日本漢詩は67首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。
「修養ノ部」、「愛隣ノ部」、「人生ノ部」、「人物ノ部」、「風物ノ部」に部立て
される。
- ・簡野道明 [他]『和漢名詩類選評釋』明治書院 1929 《KK372-H3》
1952年修正70版《921-Ka457w-(th70)》(〈24〉) 参照。
- ・坂梨徳真『皇国詩集』第2版 坂梨徳真 1929 《特 221-825》
136首を収録。原文、訓読、語注、作者紹介を掲載する。
- 〈11〉塩谷温『興国詩選』皇朝篇 弘道館 1931 《607-371》
304首を収録。原文、訓読、解釈のほか、作者紹介や詩をめぐる状況の
解説などを掲載する。

- 〈12〉市村省三『詳解近世名詩選』芳文堂 1933 《特230-791》
103首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。
- ・『興風』第1集 敬天舎 1933 《特224-345》
日本漢詩100首を収録。原文、訓読を掲載する。
 - ・草堂詩閣『漢詩作法』巧人舎 1933 《655-3》
46首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。内容は草堂詩閣『漢詩の興味』（巧人社、1934）《655-73》に同じ。
- 〈13〉池永潤軒『和漢名詩講話』（再版）京文社書店 1934 《a921-2》
126首を収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。
- ・草堂詩閣『漢詩の興味』巧人社 1934 《655-73》
46首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。内容は草堂詩閣『漢詩作法』（巧人社、1933）《655-3》に同じ。
- 〈14〉山田準『日本名詩選』章華社 1935 《693-105》
152首を収録。作者紹介、題を解説した「題意」、原文、訓読、語注、解釈を掲載する。『日本名詩選精講』（金鈴社、1943）《919-Y19ウ》（〈22〉）と同一。
- ・伊藤松雄『漢詩を探る』桑文社 1935 《681-140》
原文、訓読を掲載し、部分的に解釈を含めた解説を付す。
 - ・角光嘯堂『皇国漢詩吟詠教科書』同文社 1935 《特209-332》
90首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。
 - ・川原寿市『日本精神朗吟詩集』立命館出版部 1935 《特224-688》
原文、訓読（傍訓）、解釈を掲載する。関連する和歌などを併せて紹介する。
 - ・社会教育会『朗誦漢詩文選』社会教育会 1935（青年叢書；第9輯）
《特264-26》

23首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介を掲載する。

〈15〉松村介石『道会詩集』第2集 道会事務所 1936 《特212-683》

和漢の詩を掲載。日本漢詩は140首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。「修養の部」、「愛隣の部」、「人生の部」、「人物の部」、「風物の部」に部立てされる。

〈16〉結城蕃堂『和漢名詩評釈』文松堂書店 1936 《特265-907》

日本漢詩は302首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。

〈17〉『漢詩名詩評釈集成』名著普及会 1981 《KK372-26》

『漢詩大講座』第5巻～第9巻（アトリエ社、1936）を改題合本して復刻したもの。積清潭「名詩評釈（王朝・五山）」、木下彪「名詩評釈（江戸幕府時代）」（『漢詩大講座』第9巻にあたる）部分に日本漢詩188首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。

・今村貞治『豪吟詩歌集』改訂2版 大道館編集部 1936 《特203-107》

「皇朝之部」に日本漢詩202首を収録。原文、訓読、語注、作者紹介を掲載する。

・鈴木一水『詩魂』第1輯 維新日本社 1936 《特216-353》

「皇朝之部」に五言絶句18首（1頁～19頁）、七言絶句184首（28頁～200頁）を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。1941年国民評論社出版部版《特209-909》もあり。

・別府市立別府中学校雑誌部『吟詠詩集』別府市立別府中学校雑誌部 1936
《特264-37》

和漢の詩を収める。143首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。

〈18〉仁木松雄『興国漢詩講義』浩文社 1937 《703-148》

幕末、明治期の志士、政治家、軍人などの詩203首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。『皇国漢詩精選』（春江堂、1942）《特217-762》と同じ。

- 〈19〉木下彪『漢詩近代名詩研究集成』名著普及会 1981 《KG827-57》
『漢詩大講座』第10巻、第11巻（アトリエ社、1936-1937）を改題合本して復刻したもの。木下彪「明治大正詩選」（『漢詩大講座』第10巻にあたる）部分に明治時代以降の詩1393首を収録。原文、訓読のみを掲載する。作者紹介あり。
- ・斎藤响『日本漢詩』古代篇 春陽堂 1937 《737-41》
人物毎に詩を紹介する。原文、訓読、解説を掲載する。語注が付されている場合もある。『日本漢詩 上代篇』（元々社、1956）《919.3-Sa299n》（〈25〉）参照。
 - ・山県弘道『日本魂』日新館 1937 《特264-563》
175首を収録。原文、訓読（傍訓）を掲載する。一部の詩に語注や詩全体の解説を掲載する。
- 〈20〉小泉琴三『維新志士勤王詩歌評釈』立命館出版部 1938 《750-66》
作者毎に和歌や漢詩を紹介する。日本漢詩は59首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。作者の小伝と、著者の見解を付す。本索引の掲載頁は当該詩の原文、訓読、解釈部分のみ。巻末に「維新勤皇志士詩歌集解題」を付す。
- ・『日本精神叢書』第38 教学局 1938 《684-291》
塩谷温著「漢詩と日本精神」。日本漢詩24首を収録。原文、訓読、解釈、人物紹介などを掲載する。
 - ・団野宗勝『日露戦役忠烈詩集』乾・坤 改造社 1938～39 《723-224》
日露戦争に関する詩1632首を収録。原文、訓読のみを掲載する。一部に語注を付す。
 - ・丹潔『維新勤王志士国事詩歌集』モナス 1940 《特210-380》
104人の作者を取り上げ、作者と作品（和歌、漢詩）を紹介する。漢詩は、原文、訓読のみを掲載する。
 - ・茶原義雄『学窓清吟』香蘭社 1940 《919-C31ウ》

「歴代賢哲義人詩歌」の92頁から304頁にかけて総計346首の日本漢詩を収録。原文、訓読と作者紹介などを掲載する。

- ・鈴木一水『詩魂』第1輯 国民評論社出版部 1941 《特209-909》
「皇朝之部」に五言絶句18首（1頁～19頁）、七言絶句184首（28頁～200頁）を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。1936年維新日本社版《特216-353》もあり。

- ・鈴木一水『詩魂』国光篇 拓南社 1941 《特200-61》
50首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。

- 〈21〉加藤貞次郎『時代に生きる愛国漢詩の精神』盛林堂書店 1942 《919-Ka866ウ》

80首を収録。原文、訓読、解説を掲載する。部分的に語注や解釈が掲載されている詩もある。ほかに、末尾に江戸時代以前の代表的な漢詩を列挙する。作者略伝を付す。

- ・仁木松雄『皇国漢詩精選』春江堂 1942 《特217-762》
幕末、明治期の志士、政治家、軍人などの詩203首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。『興国漢詩講義』（浩文社 1937）《703-148》（〈18〉）と同じ。

- ・三好凌石『皇国朗吟集』日本青年教育会出版部 1942 《919-Mi91ウ》
79首を収録。原文、訓読（傍訓）、語注、解釈のほか作者紹介や平仄の解説などを掲載する。

- 〈22〉山田準『日本名詩選精講』金鈴社 1943 《919-Y19ウ》
152首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者、題意を掲載する。『日本名詩選』（章華社、1935）《693-105》と同内容。

- 〈23〉土屋竹雨『日本百人一詩』砂子屋書房 1943 《919-Ts32ウ》
100首を収録。作者紹介、原文、訓読、語注、解釈、詩の解説を掲載する。大東文化学院選定「日本百人一首」の解説。

- ・加藤顕治『正気歌とその作者』桑文社 1943 《919-Ka86ウ》
 文天祥、藤田東湖、吉田松陰、広瀬武夫、国分青厓の「正気歌」の原文、
 訓読、語注、解釈などを掲載する。

- ・大日本青少年団本部『青年吟詩集』日本青年館 1943（青少年文庫；17）
《特266-117》
 日本漢詩のみ181首を収録。原文、訓読のみであるが、他に見られない
 詩も多く掲載される。

- ・丹潔『国事詩歌集』雄生閣 1944 《919.5-Ta83ウ》
 志士などの詩歌を掲載。「漢詩編」と「和歌編」に分ける。「漢詩編」で
 は63人の日本漢詩を紹介する。原文、訓読、作者紹介を掲載する。

- ・橋本成文『日本漢詩の精神と積義』旺文社 1944
《919-H285n、919-H38ウ》
 積義篇（79頁～342頁）に251首の詩を収録。原文、訓読、語注、解釈、
 解説を掲載する。

〈24〉簡野道明『和漢名詩類選評釈』（修正70版）明治書院 1952
《921-Ka457w-（th70）》
 日本漢詩は396首を収録。原文、訓読、語注、解釈、詩や韻の解説など
 を掲載。「勸学」、「懐古」、「名勝」などに分類されている。『漢詩の名作集』
 （明治書院、2011）《KK372-J41、KK372-J42》として2冊本で復刻された。
 当館では、4版（1915年版《357-36》）、40版（1929年版《KK372-H3》）も
 所蔵する。

〈25〉斎藤响『日本漢詩』上代篇 元々社 1956 《919.3-Sa299n》
 本索引では「作品鑑賞」の章に掲載されている157首を採録した。原文、
 訓読を掲載する。その前後に解説があり、そのなかに現代語訳を含むもの
 もある。本索引の掲載頁は原文と訓読（場合により現代語訳）の部分のみ
 を示した。

〈26〉内田泉之助『新釈和漢名詩選』明治書院 1958 《921-U849s》
 109首を収録。原文、訓読、作者紹介、語釈、通釈、詩全体や関連事項

などについての解説を掲載する。

- 〈27〉内田泉之助『漢詩百選』明治書院 1963 《921-U849k》
日本漢詩は24首を収録。原文、訓読、語注、解釈、解説を掲載。
- 〈28〉『日本古典文学大系』第69 岩波書店 1964 《918-N6852》
小島憲之校注「懐風藻・文華秀麗集・本朝文粹」。「懐風藻」119首、「文華秀麗集」143首を収録、「本朝文粹」は44篇の詩文などを抄出。原文、訓読、語注などを掲載。巻頭に解説、巻末に「詩人小伝」を付す。本索引では、「懐風藻」、「文華秀麗集」と「本朝文粹」のうち、巻1の賦、雑詩24首と巻12の詞1首、行1首を採録した。本索引の掲載頁は語注を含まない。
- 〈29〉『日本古典文学大系』第89 岩波書店 1966 《918-N6852》
山岸徳平「五山文学集・江戸漢詩集」。542首を収録。原文、訓読、解釈（一句ごとの現代語訳）を掲載する。巻頭に解説、巻末に補注、作者の小伝を付す。本索引の掲載頁は語注を含まない。
- 〈30〉内田泉之助『明解日本漢詩文』明治書院 1968 《Y35-320》
82首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介などを掲載する。
- 〈31〉和田利男『日本漢詩鑑賞のすすめ』愛育出版 1968（愛育新書）
《KG815-1》
132首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介などを掲載する。
- 〈32〉伊藤長四郎『新釈和漢愛誦詩歌集』笠間書院 1969 《KG815-3》
101首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介、解説などを掲載する。
- 〈33〉猪口篤志『日本漢詩』上 明治書院 1972（新釈漢文大系45）
《082-Si498》
128首を収録。作者の伝記、原文、訓読、語注、解釈、関連事項について記載した余説を掲載する。巻頭に「日本漢詩概説」を付す。
- 〈34〉猪口篤志『日本漢詩』下 明治書院 1972（新釈漢文大系46）

《082-Si498》

126首を収録。作者の伝記、原文、訓読、語注、解釈、関連事項について記載した余説を掲載する。巻末に上巻〈33〉も対象とする「一句索引」を付す。

〈35〉原田憲雄『日本漢詩選』人文書院 1974 《KG815-9》

236首を収録。原文、訓読、訳詩を掲載する。訓読は249頁～283頁にあり。巻末に作者紹介を付す。

〈36〉有原末吉『漢詩鑑賞二百選』東京堂出版 1974 《KG815-10》

日本漢詩は100首を収録。原文と訓読、解説を掲載する。

・安藤英男『日本漢詩百選』大陸書房 1977 《KG815-14》

1983年蒼土舎版《KG815-21》(〈42〉)参照。同書の原版。

〈37〉猪口篤志『女性と漢詩』笠間書院 1978 (笠間選書103) 《KG815-15》

女性が詠んだ漢詩を集めたもの。日本漢詩は83首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介を掲載する。

・『日本の禅語録』第8巻 講談社 1978 《HM172-82》

玉村竹二著「五山詩僧」。原文、訓読、語注、解釈のほか「解読のための覚書」を掲載する。義堂周信、絶海中津、中巖円月、雪村友梅、虎関師錬の詩文を収める。

〈38〉鎌田正・米山寅太郎『漢詩名句辞典』大修館書店 1980 《KK62-9》

名句をテーマ別に分類した辞典。日本漢詩155首を収録。詩の原文、訓読、語注が掲載される。巻末に作者解説、詩句索引などを付す。

〈39〉猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』角川書店 1980 《KG815-17》

380首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介、押韻などを掲載する。巻頭に「序説 日本漢詩の変遷」があり、時代順に代表的な詩人と詩集を紹介する。全句総索引を付す。

〈40〉福田蘇煙『熊本人の漢詩』書道玄泉会 1982 《KG824-56》

265首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。一部、解説や語注が含まれる。作者略伝あり。

- 〈41〉 入矢義高『日本文人詩選』中央公論社 1983 《KG824-50》
日本漢詩310首と数篇の文を収録。漢詩原文、訓読、語注を掲載する。
1992年中公文庫版《KG824-E45》(〈57〉)の原版。
- 〈42〉 安藤英男『日本漢詩百選』新訂 蒼土舎 1983 《KG815-21》
100首を収録。見開き一首の構成。原文、訓読、解釈、作者紹介、詩に
関連する解説などを掲載する。終章として「日本詩史」を付す。1977年大
陸書房版の新訂版。
- 〈43〉 『明治文学全集』62 筑摩書房 1983 《918.6-M4482》
神田喜一郎編「明治漢詩文集」。日本漢詩は詩題の数で455種を収録。原
文、訓読のみ掲載。巻末に「作者略歴」を付す。
- 〈44〉 川口久雄『幕末・明治海外体験詩集』大東文化大学東洋研究所 1984
《KG827-81》
845首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者の略伝を掲載する。「参考」
として解説を加えているものもある。巻末に人名、地名などの索引を付す。
- 〈45〉 『漢文名作選』5 大修館書店 1984 《KK412-7》
菅野礼行・国金海二著「日本漢文」。日本漢詩は89首を収録。原文、訓
読、解釈、作者紹介、詩の解説を掲載する。
- 〈46〉 小島憲之『王朝漢詩選』岩波書店 1987(岩波文庫) 《KG817-28》
170首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作詩の事情を掲載する。巻末
に「作者小伝」を付す。
- 〈47〉 日野竜夫『江戸詩人選集』第8巻 岩波書店 1990 《KG824-E11》
入谷仙介注「頼山陽・梁川星巖」。頼山陽57首、江馬細香4首、梁川星巖
58首、張紅蘭2首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に
解説、作者年譜を付す。

- 〈48〉日野竜夫『江戸詩人選集』第4巻 岩波書店 1990 《KG824-E11》
黒川洋一注「菅茶山・六如」。菅茶山111首、六如72首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。
- 〈49〉佐竹昭広『新日本古典文学大系』48 岩波書店 1990 《KH2-E3》
入矢義高校注「五山文学集」。内容は「蕉堅藁」（絶海中津著）168首、「空華集」（抄）（義堂周信著）37首、「済北集」（抄）（虎関師鍊著）8首、「岷峨集」（抄）（雪村友梅著）21首、「寂室和尚語」（抄）（寂室元光著）8首、「南游・東帰集」（抄）（別源円旨著）12首、「東海一瀕集」（抄）（中巖円月著）12首、「卅余集」（抄）（愚中周及著）6首、「了幻集」（抄）（古剣妙快著）11首を収録。原文、訓読、語注を掲載する。巻末に解説を付す。
- 〈50〉日野竜夫『江戸詩人選集』第5巻 岩波書店 1990 《KG824-E11》
揖斐高注「市河寛斎・大窪詩仏」。市河寛斎71首、大窪詩仏72首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。
- 〈51〉日野竜夫『江戸詩人選集』第7巻 岩波書店 1990 《KG824-E11》
徳田武注「野村篁園・館柳湾」。野村篁園42首、館柳湾94首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。
- 〈52〉日野竜夫『江戸詩人選集』第10巻 岩波書店 1990 《KG824-E11》
日野竜夫注「成島柳北・大沼枕山」。成島柳北73首、大沼枕山62首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。
- 〈53〉日野竜夫『江戸詩人選集』第3巻 岩波書店 1991 《KG824-E11》
山本和義・横山弘注「服部南郭・祇園南海」。服部南郭67首、祇園南海49首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。
- 〈54〉日野竜夫『江戸詩人選集』第1巻 岩波書店 1991 《KG824-E11》
上野洋三注「石川丈山・元政」。石川丈山80首、元政80首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。
- 〈55〉日野龍夫・徳田武・揖斐高『江戸詩人選集』第9巻 1991

《KG824-E11》

岡村繁注「広瀬淡窓・広瀬旭荘」。広瀬淡窓44首、広瀬旭荘24首収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。

〈56〉日野竜夫『江戸詩人選集』第2巻 岩波書店 1992 《KG824-E11》

徳田武注「梁田蛻巖・秋山玉山」。梁田蛻巖35首、秋山玉山33首。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。

〈57〉入矢義高『日本文人詩選』中央公論社 1992 (中公文庫)

《KG824-E45》

日本漢詩310首と数篇の文を収録。漢詩原文、訓読、語注を掲載する。1983年版《KG824-50》(〈41〉)の文庫版。

〈58〉日野竜夫『江戸詩人選集』第6巻 岩波書店 1993 《KG824-E11》

水田紀久注「葛子琴・中島棕隠」。葛子琴56首、中島棕隠59首を収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説、作者年譜を付す。

〈59〉山田勝弘『美濃の漢詩人とその作品』研文社 1993 《KG824-E56》

約700首を収録。論文の中に詩を紹介する。各詩の紹介は原文、訓読、題意、語注、解釈を掲載することを原則としている。なかに、原文と訓読のみのものや、それに解釈が加えられたものなども含まれる。

〈60〉渡部英喜『日本漢詩紀行』東方書店 1995 《KG815-G1》

原文訓読のみの「参考」詩、黄遵憲の詩1首を含め、日本漢詩は72首を収録。原文、訓読、詩の解説を掲載する。解釈を加えているものもある。

〈61〉『江戸漢詩選』第3巻 岩波書店 1995 《KG824-E65》

福島理子注「女流 江馬細香・原采蘋・梁川紅蘭」。148首を収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説を付す。

〈62〉『江戸漢詩選』第4巻 岩波書店 1995 《KG824-E65》

坂田新注「志士 藤田東湖・佐久間象山・吉田松陰・橋本左内・西郷隆盛」。141首を収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説を付す。

- 〈63〉遠藤鎮雄『百人一詩』錦正社 1996 (伝統文化叢書4) 《KG815-G3》
100首を収録。大東文化学院選定「日本百人一首」(土屋竹雨『日本百人一詩』(砂子屋書房 1943)《919-Ts32ウ》(〈23〉)はその訳読) 収載詩の原文、訓読、解釈を掲載する。
- 〈64〉『江戸漢詩選』第5巻 岩波書店 1996 《KG824-E65》
末木文美士・堀川貴司注「僧門 独菴玄光・売茶翁・大潮元皓・大典顯常」。160首を収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説を付す。
- 〈65〉『江戸漢詩選』第1巻 岩波書店 1996 《KG824-E65》
徳田武注「文人 亀田鵬斎・田能村竹田・仁科白谷・亀井南冥」。101首を収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説を付す。
- 〈66〉『江戸漢詩選』第2巻 岩波書店 1996 《KG824-E65》
一海知義・池沢一郎注「儒者 荻生徂徠・新井白石・山梨稻川・古賀精里」。87首を収録。原文、訓読、語注、解釈などを掲載する。巻末に解説を付す。
- 〈67〉猪口篤志 [他]『日本漢詩』明治書院 1996 (新書漢文大系7) 《KG815-G5》
173首を収録。原文、訓読、解釈、背景を掲載する。「新釈漢文大系」本(明治書院、1972)《082-Si498》(〈33〉、〈34〉)をもとに編集し直したものの。2002年新版《KG815-G16》あり。
- 〈68〉佐竹昭広『新日本古典文学大系.66』岩波書店1996 《KH2-E3》
水田紀久・頼惟勤・直井文子校注「菅茶山詩集・頼山陽詩集」。菅茶山200首、頼山陽300首を収録。原文、訓読、語注を掲載する。巻末に解説を付す。
- 〈69〉佐竹昭広『新日本古典文学大系』64 岩波書店 1997 《KH2-E3》
日野竜夫 [ほか] 校注「**護園**録稿・如亭山人遺藁・**梅墩**詩鈔」。内容は「**護園**録稿(抄)」(日野竜夫校注)、「如亭山人遺藁」(柏木如亭著、揖斐高校注)、「霞舟吟卷」(首卷)(友野霞舟著、揖斐高校注)、「**梅墩**詩鈔」(抄)(広

瀬旭莊著、日野竜夫校注)、「竹外二十八字詩」(抄)(藤井竹外著、水田紀久校注)から成る。高野蘭亭16首、服部南郭36首、平野金華29首、山県周南28首、柏木如亭195首、友野霞舟128首、広瀬旭莊58首、藤井竹外185首を収録。原文、訓読、語注を掲載する。巻末に解説を付す。

〈70〉 积清潭 [他] 『補注和漢高僧名詩新釈』 国書刊行会 1998 《KK436-G7》

积清潭『和漢高僧名詩新釈』(丙午出版社、1910《特64-201》)に補注を加えたもの。和漢の僧侶の詩を収録。日本漢詩は53首。虎関師練、雪村友梅、大智、竜泉令淬、別源円旨、夢巖祖応、中巖円月、絶海中津、義堂周信の詩をとりあげる。原文、訓読、語注、詩に関連する解説を掲載する。

〈71〉 北川博邦 『墨場必携日本漢詩選』 二玄社 1999 《KG815-G12》

386首を収録。原文、訓読、語注、解釈を掲載する。巻末に収録作品全ての詩句を対象とした「詩句索引」を付す。

〈72〉 國金海二・若林力 『日本の漢詩文』 大修館書店 1999 (漢文名作選第2集 5) 《KG815-G14》

日本漢詩は88首を収録。原文、訓読、解説を掲載。解説には解釈、語注、作者紹介を掲載する。

〈73〉 [小西理兵衛] [他] 『墨場必携富嶽詩集』 有隣社 2001 《KG815-H18》

183首収録。小西理兵衛『富岳詩集』(小西理兵衛、大正5)の絶句部分のうち約20首を除き、原文、訓読、語注、解釈を掲載する。一部外国人を含む。

〈74〉 『日本漢詩集』 小学館 2002 (新編日本古典文学全集86) 《KH2-E9》

427首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介を掲載する。巻末に日本漢詩を概説した解説を付す。三段組となっており、訓読、語注、現代語訳の開始、終了は頁がずれる事が多いが、本索引の掲載頁は、いずれか早いものから遅いものまでを示した。

〈75〉 池澤一郎 『江戸時代田園漢詩選』 農山漁村文化協会 2002 (人間選書 246) 《KG824-H2》

95首を収録。原文、訓読、解釈、解説を掲載する。本索引の掲載頁には

解説を含めた。

- ・猪口篤志 [他] 『日本漢詩』 新版 明治書院 2002 (新書漢文大系7)
《KG815-G16》

1996年版《KG815-G5》(〈67〉) 参照。同書の新装版。

- 〈76〉石川忠久『日本人の漢詩』 大修館書店 2003 《KG815-H19》
140首を収録。原文、訓読、解説を掲載する。一部に解釈を含む。

- 〈77〉入谷仙介『漢詩文集』 岩波書店 2004 (新日本古典文学大系明治編2)
《KG827-H27》

日本漢詩は332首を収録。原文、訓読、語注または解釈(一句毎の現代語訳)を掲載する。巻末に解説を付す。

- 〈78〉興膳宏『古代漢詩選』 研文出版 2005 (日本漢詩人選集別巻)
《KG817-H15》

76首収録。作者紹介、原文、訓読、解説を掲載する。解説は語注、解釈、詩や作者の解説などを含む。

- 〈79〉林田愼之助『漢詩のこころ』 講談社 2006 (講談社現代新書)
《KG815-H29》

91首を収録。原文、訓読、解釈を掲載する。詩人を紹介するなかで漢詩を紹介する。本索引の掲載頁は、文中で行を下げて記された原文、訓読、解釈部分を示した。

[戦後の詩吟書]

- 〈80〉横上若太郎『吟詠漢詩選』 修学社 1955 (明林新書) 《919-Y726g》

210首を収録。原文、訓読などを掲載する。一部の詩は語注、解釈を掲載する。採録詩は1963年改訂版《Y78-114》と同一。

- ・横上若太郎『吟詠漢詩選』 改訂版 修学社 1963 8版 《Y78-114》
1955年版《919-Y726g》(〈80〉) 参照。同書の改訂版。

- ・横上若太郎『吟詠漢詩和歌選』 修学社 1965 《Y78-115》

日本漢詩は76首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介を掲載する。
『吟詠漢詩選』《919-Y726g、Y78-114》(〈80〉)の続編。

〈81〉大竹松堂『詩吟のための日本漢詩選』日中出版 1979 《KG815-16》
78首を収録。目次中には、その他に訓読のない3首も掲載する。原文、
訓読、語注、解釈、作者紹介を掲載する。参考として作詩の事情などが記
される場合もある。1992年版《KG815-E9》と同一内容。

〈82〉榊原帰逸『詩吟道大鑑』金園社 1981 《KD871-15》
詩吟全般について記されたもの。「日本漢詩史」「日本歴史人物詠史」「詩
吟詩舞のための日本漢詩の解説」「朗吟日本風土記」の章に382首を収録。
原文と訓読を収録。語釈を含むものがある。

・大竹松堂『詩吟のための日本漢詩選』日中出版 1992 《KG815-E9》
1979年版《KG815-16》(〈81〉)参照。同書と同一内容。

〈83〉野村邦近 [他]『吟詠教本』漢詩篇3 日本詩吟学院岳風会 1993
《KD871-H30》
65首を収録。原文、訓読、語注、解釈、解説、韻字、作者紹介を掲載す
る。

〈84〉佐藤佐太郎『吟詠を楽しむ365日』佐藤佐太郎 1995 《KG815-G9》
漢詩、和歌365首のうち、日本漢詩は182首に原文、訓読、詩の解説が
掲載される。一部訓読の含まれないものがあり、本索引には採録してい
ない。

〈85〉太刀掛呂山 [他]『漢詩の手本』第7輯 呂山詩書刊行會 1996 (風雅叢
書) 《KG827-J79》
155首を収録。原文、訓読、語注、作者紹介を掲載する。

〈86〉大東吟道会『吟道詩歌集』(増補改訂)大東塾出版部 1997
《KG815-G8》
120首を収録。原文、訓読、解釈、作者紹介を掲載する。一部「参考」と
して背景や人物についての記載がある。

- 〈87〉太刀掛呂山『漢詩の手本』第1輯（再版）呂山詩書刊行會 2006（風雅叢書）
《KG827-J78》
229首を収録。原文、訓読、語注、作者紹介を掲載する。
- 〈88〉新田大作〔他〕『吟詠教本』漢詩篇（改訂2版）日本詩吟学院岳風会 2006
《KD871-H28》
日本漢詩は61首を収録。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介などを掲載する。
- 〈89〉大野修作『吟詠詩の手びき』第5集（日本漢詩編）吟道撰楠流総本部
2007
《KD871-H32》
53首を収録。原文、訓読、解釈、解説を掲載する。
- 〈90〉野村邦近〔他〕『吟詠教本』漢詩篇2（新訂版）日本詩吟学院岳風会 2007
《KD871-H29》
86首掲載。原文、訓読、語注、解釈、作者紹介などを掲載する。